

町民に親しまれ、愛される公共施設整備へ



生涯学習施設整備に
 向けて始動します！

問合せ 生涯学習課 ☎(81) 3907

目次

2-3	特集 生涯学習施設
4-7	特集 令和6年度当初予算
8-18	里都まちニュース
19	文化財あれこれ
20	里都まちリポート①、里都まち掲示板
21-26	インフォメーション
27	新着図書 俳句
28	里都まちリポート②

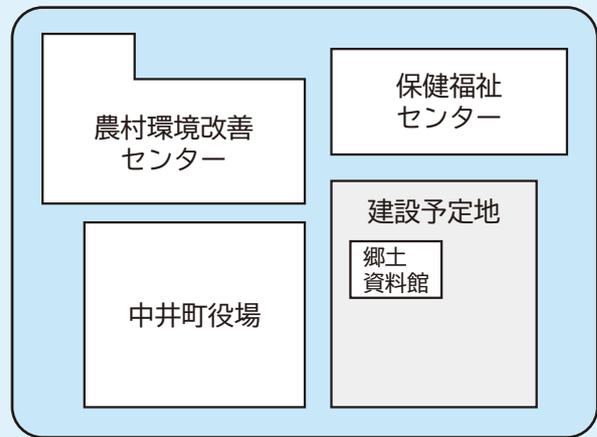
○施設整備の背景

農村環境改善センターは1983年に建設されました。建設から40年以上が経過し、外装や内装をはじめ全体的に経年劣化がみられます。施設の老朽化に加え、エレベーターや障がい者が利用できるトイレがないなどバリアフリー対策も十分でなく、さまざまな課題を抱えています。



○建設予定地

役場東側の約2,800㎡を想定しています。町の借地分や民有地も含まれており、今後、地権者の協力を得ながら整備用地の確保に努めます。



○整備スケジュール

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
基本構想・計画策定	→			
町民ワークショップ	→	→		
設計業者選定	→			
基本・実施設計		→		
用地買収	→			
建設工事			→	→

12月
開館
予定

○町役場周辺の拠点整備

公共公益性の高い施設が立地する町役場周辺地区は、公共サービス機能やバスターミナルとしての交通結節点を生かして、町内外から多くの人が集い・交流するまちづくりをめざしています。生涯学習施設単体だけでなく、役場周辺全体のランドデザインを描くことで地域拠点としての機能性と魅力を兼ね備えた『比奈窪56プラン』の検討を並行して進めます。

○生涯学習施設のめざす姿

新たに整備する生涯学習施設は、町の現状や町民の意見のもと、生涯学習と地域交流を育むための拠点になることが期待されます。そのためには、町民が日常的に訪れたいと思えるような環境を整備する必要があります。また、目的を持った町民が集い、互いに学びあうことで、豊かな人間性と地域への愛着が育まれます。

生涯学習・地域交流拠点として、幅広い世代の人々が集い、学び、憩い、交流することで、にぎわいと地域への愛着を育む生涯学習施設の整備をめざします。

里都まち♡なかい わいがやサロンを始めます

農村環境改善センターが新しく生まれ変わります。中井町にどのような施設が必要か、町民の皆さん一人ひとりの声を集めるため、『里都まち♡なかい わいがやサロン』を開催します。

〇わいがやサロン3箇条

1. 毎回参加しなくても大丈夫！

それぞれのペースで、出入りが自由なサロンです。

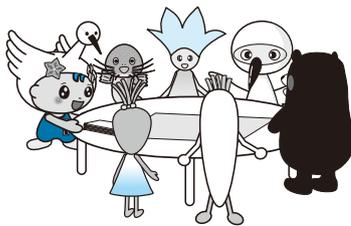
2. 参加対象は無条件

どなたでも参加できます。小さな子どもが声をあげたり動いたりしても大丈夫です。みんなでリラックスして対話するサロンです。

3. 町民みんなが検討委員会のメンバー！

新しい施設を建てる時、よく開催されるのが有識者会議です。しかし、本当に必要なのは、その施設を使う方の声です。

「里都まち♡なかい わいがやサロン」では、町民みんなが検討委員会のメンバーです。



〇わいがやサロン開催内容

場所

中井町農村環境改善センター

時間

休日の昼間または平日の夜開催

参加方法

生涯学習課へお申し込みください。申し込みせず来場することもできます。

詳細については、広報5月号に掲載します。

6月14日(金) キックオフ

7月20日(土) 先進事例の視察

8月上旬 視察の報告とディスカッション

9月中旬 外部講師を招いた講習会

10月20日(日) 美・緑なかいフェスティバルで
(予定) アイデア投票

11月下旬 アイデアをプランへ落とし込み

5月1日から郷土資料館を休館します

町民の皆さんから寄せられた農機具、古文書、土器など、約500点が展示されている郷土資料館ですが、生涯学習施設建設予定地となることから、5月1日より休館します。

収蔵資料の整理整頓、記録、梱包作業などのため展示室見学は4月30日をもって終了します。ご理解とご協力をお願いします。



Q. 休館になったら郷土資料館に展示してある資料はもう見ることができないのですか。

A. 郷土資料館内の展示物、収蔵資料などは、令和6年度中に開設予定のデジタル資料館でご覧いただけます。

Q. これまで展示していた資料はなくなってしまうのですか。

A. 品目ごとに分類整理して、引き続き、町の郷土資料として保存します。

Q. 小学校の課外授業として、郷土資料館の見学をしていたと思うのですが。

A. 小学校の課外授業見学に代わり、郷土学習教材の貸し出し対応をします。

Q. 新たに整備される生涯学習施設のなかに郷土資料館が併設されますか。

A. 町民ワークショップ(わいがやサロン)などにより、多くの町民の意見を伺いながら、郷土資料館機能について検討します。

